

自転車のルール・マナー あなたは守っていますか？

自転車は、手軽で環境に優しい乗り物です。しかし、交通ルールやマナーを守らないと大変危険な乗り物になってしまいます。

自転車に関する

主な交通ルールと罰則

◇一時停止は必ずしましょう！

※一時停止違反

3カ月以下の懲役または5万円以下の罰金

◇車道の左側を走りましょう！

※通行区分違反

3カ月以下の懲役または5万円以下の罰金

◇夜間はライトをつけましょう！

※夜間の無灯火

5万円以下の罰金

◇2台並んでの走行はやめましょ

※並進の禁止

2万円以下の罰金または料

◇お酒を飲んだら、絶対に乗らな

※酒酔い運転

3年以下の懲役または50万円以下の罰金

学校や家庭、職場で、いま一度、

交通ルールについて考えてみませ

んか



男女共同参画⑭

シリーズ

仕事と私生活の両立 ～ワーク・ライフ・バランス～

『男と女』

子育て世代への支援をきっかけとして始まった、企業における「仕事と家庭の両立支援」。育児休業制度や短時間勤務制度など、優秀な人材を確保し定着させるために欠かせない施策であるといわれています。

しかし一方で、その恩恵を受けられない雇用者(未婚の人や子どもがいない人など)に、不公平感を生じさせています。そんな中、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の考えが広まってきました。

人には、さまざまな価値観・ライフスタイルがあります。仕事以外の生活時間において、例えば水泳や英会話といった趣味の時間を充実させたい人もいれば、資格取得などキャリアアップのための時間が欲しいと思う人もいます。

「誰もが、仕事と仕事以外の活動とを、自分の希望するバランスで展開できる状態」それが、ワーク・ライフ・バランスです。

働きやすい環境が整った企業には、優秀な人材が集まってきます。雇用者は、プライベートな時間が充実することで生活にメリハリがつき、仕事への意欲・効率が高まります。企業にとっては負担となりがちな支援策ですが、見方を変えればメリットともなり得ます。

ワーク・ライフ・バランスの考えのもと、今後は、育児中の女性に限らずすべての人への幅広い支援が期待されます。

もちろん、現実には理想どおりの生活を送ることは容易ではないかもしれませんが、あれもこれもと欲張り過ぎず、自分に一番合った程よい生活というのを見極めることも大事ですね。

(文責 岩田)